

# 黒埼町の風音

町史編さん部

## 黒埼町の風呂屋(八)

### 新潟地震で自衛隊員千五百人が

### 黒埼へ。大野の風呂屋大混雑。

復旧のため黒埼へやって来た自衛隊員たちは、小学校や公民館を駐屯地(宿泊地)とした。大野小約六百人、木場小約四百人、黒島小約二百人、中央公民館約三百人の計千五百人ほどの隊員が駐屯したという。なお、木場小に駐屯したのは練馬から来たという。何より急がれていたのは、大野大橋取り付け部分と善久の国道八号の復旧だった。それによって交通を再開することが必要だったのである。

新潟市の万代島方面や山ノ下方面の復旧作業に向かう隊員たちは、善久のはずれに待機したトラックに分乗して、それぞれの現場に行った。自衛隊による復旧工事は昼夜兼行で行われ、数日で国道八号の復旧がなり、大野の町に自衛隊のトラックが入ってきた。

自衛隊の大野駐屯によりが然忙しくなったのが「鶴の湯」だった。自衛隊の復旧作業は非常に



新潟地震により地割れを生じて自動車の通行ができなくなった国道8号(善久地内)。地割れの中に立っているのは筆者。

た。また作業が二十四時間態勢で行われたため、ほとんど不定期に入浴に来たという。そのため、「鶴の湯」の営業時間が大きく変わった。特に女湯は入浴時間が午後六時から八時まで制限された。自衛隊員がそれ以外の時間に入浴するためである。男湯は時間に制限はなかったが、自衛隊員がいつでも入浴できるようにしておかなければならなかった。(駐屯前に役場から復旧作業に大勢の自衛隊員が

来るので入浴に便宜を図ってほしい、との依頼があった) 当時、「鶴の湯」への一日の来客数がほぼ二百人。そこへ千五百人、三軒で割っても五百人が入浴することになったのだから、その混みようといったら並たいではない。湯を落としたり水を入れ替える時間もないうようなことになった。しかし、卯一さんが当時まだ県下でも珍しい湯の循環ろか器を設置していたため、湯の入れ

替えをしなくとも風呂の湯は常時きれいだったという。それでも風呂屋で仕事をする人たちが大変なことには変わりなく、教員をしながら手伝っていた奎助さんは一日二、三時間しか眠れなかった。自衛隊員の入浴は大野のほかの風呂屋「花乃湯」「月の湯」でも同じく行われた。なお、自衛隊員の入浴料金は、一般の大人の半額くらいだったという。

#### ◆エピソード二題

昔はこの風呂屋にも風呂に温度計がなく、釜場では湯の温度がわからなかった。それで、風呂がぬるくなると、客が浴槽の中から浴槽の後ろの壁に描かれた山水画をどんとたたいて、熱い湯を出してくれと合図したという。

○風呂に入りに来る人たちにも、始まってすぐに来る人、夕食後に来る人、寝る前に来る人、風呂屋がしまるころ来る人と、さまざまだった。しまるころ来る人は誰々とかかっていたので、その人が来るまで湯を落とすのを待つことがよくあったという。

※今回で大野の風呂屋の話は終わります。次回からは木場にあった風呂屋を紹介。執筆・宮田栄門、取材協力・宗村喜介、宗村奎助、浅妻よし子(敬称略)

## 小針街路が4月20日に開通

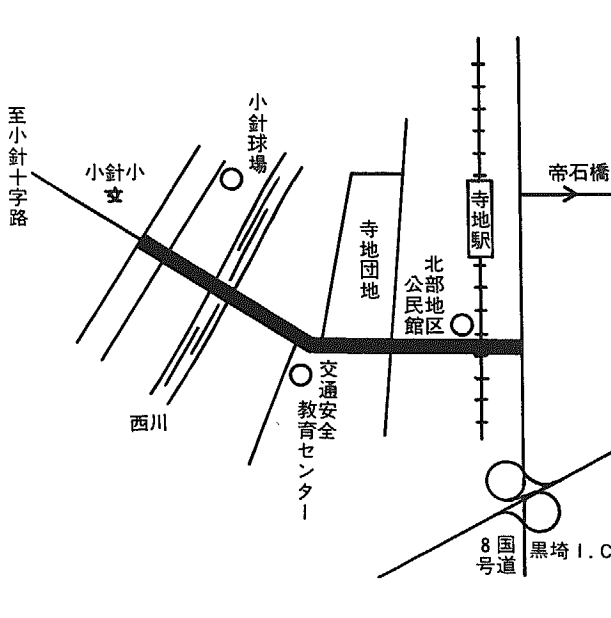
### 本町山田から新潟市小針まで



都市計画道路小針線(通称小針街路)が四月二十日(水)に開通します。本町山田の主要

地方道新潟・黒埼インター線(旧国道八号)から新潟市小針までを結び、延長は千七百十メートル。そのうち黒埼町内は六百六十メートル(左図参照)。幅員は二十二メートルで四車線。両側に歩道が付きまます。新潟交通の電車線路とは立体交差となり、歩行者・自転車は地下通路を通行することになります。

この事業は昭和四十七年から始まり、総事業費は三十四億四千五百万円。そのうち黒埼町は二億八千三百五十万円



を負担しました。なお、町ではこの小針街路や新潟西バイパスの開通に伴う交通量の変化を調べるため、交通量調査を実施します。調査場所は立山小前や寺地団地

前など六カ所。三月初めにまず行い、開通後は六月初めに言う予定です。調査は、企画開発課、総務課交通安全対策室、建設課が共同で行います。

ただし、予算の詳しい内容については今月号で、その他の議案や一般質問の詳しい内容については五月号でお知らせします。

工 事 名	工 事 業 者
町道裏堤防線ガードレール設置工事	(有) 笹川組
寺地用水路改修工事	(有) 笹川組

町議会三月定例会が、三月十日(金)から二十四日(金)まで開かれました。

今回提出された議案は、平成元年度の一般会計予算など二十二議案で、すべて原案どおり議決されました。

また、請願・陳情はそれぞれ一件ずつ上程され、消費税の廃止を求める請願は不採択中ノ口川堤防改修工事に伴う側道設置に関する陳情は採択されました。

一般質問は二十二日に行われ、九人の議員が新潟市との

高齢者福祉に各分野の連携を

高齢者サービス調整チームを結成

会議には家庭奉仕員、民生委員、ボランティア代表、老人クラブ代表、医師会、保健所、町社会福祉協議会などから出席があり、役場からは住民福祉課長、保健衛生課長らが出席。在宅の要援護老人とその家族への援護について、今後の方針などを話し合いました。(住民福祉課)

高年齢者のさまざまな要望にこたえ、適切なサービスを提供するため、高齢者サービス調整チームが設置され、三月二日(水)、役場議場で初めての会議を開きました。

保健、医療、福祉の各分野の連携を図って、高齢者とその家族の福祉向上に寄与するのがこのチームの目的です。

三月十日(金)から二十四日(金)まで開かれました。

今回提出された議案は、平成元年度の一般会計予算など二十二議案で、すべて原案どおり議決されました。

また、請願・陳情はそれぞれ一件ずつ上程され、消費税の廃止を求める請願は不採択中ノ口川堤防改修工事に伴う側道設置に関する陳情は採択されました。

一般質問は二十二日に行われ、九人の議員が新潟市との

高年齢者のさまざまな要望にこたえ、適切なサービスを提供するため、高齢者サービス調整チームが設置され、三月二日(水)、役場議場で初めての会議を開きました。

保健、医療、福祉の各分野の連携を図って、高齢者とその家族の福祉向上に寄与するのがこのチームの目的です。

高年齢者のさまざまな要望にこたえ、適切なサービスを提供するため、高齢者サービス調整チームを結成

会議には家庭奉仕員、民生委員、ボランティア代表、老人クラブ代表、医師会、保健所、町社会福祉協議会などから出席があり、役場からは住民福祉課長、保健衛生課長らが出席。在宅の要援護老人とその家族への援護について、今後の方針などを話し合いました。(住民福祉課)

入札結果から	競争入札
請 負 額	入 札 日
1,200千円	2月23日
2,500千円	3月6日



2月15日～3月15日

▼2月16日議会臨時会▼17日課長会議▼21日市町村サミット(新潟市、町長出席)▼22日民協2月定例会(住民福祉課)▼23日入札(総務課)郡町村会、県町村会、国保連合会議(新潟市自治会館)▼25日西蒲施設組合会議(弥彦村)▼27日議会運営委員会▼28日農業委員会(農政課)ガス水道公聴会(東京都)清掃事務組合会議(新潟市)▼3月1日町交通安全対策協議会(総務課)茶豆早出栽培打合せ会(環境改善センター、農政課)黒埼高校卒業式▼2日定例課長会議、高齢者サービス調整チーム結成(役場議場、住民福祉課)老人健康講演会(黒埼荘、町長出席)園芸生産拡大推進大会(農協)▼3日保育所運営委員会(住民福祉課)防除協議会班長会議(中央公民館)公営企業運営委員会(企業局)▼5日農協青壮年部通常総会(農協)▼6日入札(総務課)社会福祉協議会理事会(環境改善センター)▼7日交通安全推進員会議(総務課)▼9日金融問題懇談会(環境改善センター)▼10日～24日議会3月定例会(13日総務文教委員会、15日産業建設委員会)▼14日黒埼中卒業式

高年齢者のさまざまな要望にこたえ、適切なサービスを提供するため、高齢者サービス調整チームを結成

会議には家庭奉仕員、民生委員、ボランティア代表、老人クラブ代表、医師会、保健所、町社会福祉協議会などから出席があり、役場からは住民福祉課長、保健衛生課長らが出席。在宅の要援護老人とその家族への援護について、今後の方針などを話し合いました。(住民福祉課)

高年齢者のさまざまな要望にこたえ、適切なサービスを提供するため、高齢者サービス調整チームを結成

会議には家庭奉仕員、民生委員、ボランティア代表、老人クラブ代表、医師会、保健所、町社会福祉協議会などから出席があり、役場からは住民福祉課長、保健衛生課長らが出席。在宅の要援護老人とその家族への援護について、今後の方針などを話し合いました。(住民福祉課)